2022/7/30
大会事務局

【KV-Moto】ブリーフィング資料

■ONE LAPタイムアタック【国際レーシングコース 東コース】

1. 走行スタート順は、整列順とする。
コントロールタワー前のスタート位置(32番グリッド付近)からオフィシャルの合図(日章旗)により、国際レーシングコース東コース１周をKV-40と比べて逆走（以下、KV-Motoではこの走行方向を「順走」と定義する）でのタイムアタックを開始する。
2. 約15秒～20秒間隔でコースインする。
最終スタート時刻11時35分に間に合うように車両をスタンバイさせ、スタート位置に整列できるよう準備すること。
3. 東コースを周回してホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でチェッカーを受け、完走扱いとなる。
その後は、徐々にスピードダウンし、PITレーン入口を逆走しオフィシャルの誘導に従い、**PIT50にて車両を預けて終了となる。**
この際、ピットレーンはPIT50に到着するまでは黒いアスファルト部分を通ること。ピットロードの白いコンクリート部分を通るとペナルティ対象となる可能性があるので注意すること(図２)。
4. 競技中、完全に停車させた状態で、充電池側ブレーカの復帰作業を行うことができるが、必ず電池の温度や固定の状態を確認し、安全を確保した状態でブレーカのカバーを開けて作業すること。
5. 走行中、**スロー走行をする場合はコース左側**を走行すること。
6. トラブル等により車両が止まった場合は、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。完走できなかったチームは
ONE LAPタイムアタック終了後**30分以内に、ピットビル2階大会事務局まで出走嘆願書を提出することにより30minトライアルに順位賞典対象外として出場できる。**
7. ONE LAPタイムアタックの競技時間は30分間。最終出走時刻の11時35分から10分後に競技終了となり、**各監視ポストにて赤旗が表示される。**
この時点で完走できなかったチームはレッカーによる回収の対象となるため走行を中断し、待機すること。
8. 完走したチームは車両保管の対象となるので、終了後速やかに競技車両を**PIT50へ持ち込むこと。**

図１ホームストレート上パイロン線

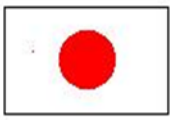
図２ピットロード

■30minトライアル【国際レーシングコース　東コース】

1.別紙スタート進行表を確認すること。
2.スターティンググリッド(スタート順)は、ONE LAPタイムアタックの結果順となる。
別途発行されるスターティンググリッド表を必ずご確認すること。
3.各車のスターティンググリッドから5メートルを走行するまでは、転倒防止のための足つきを認める。
また、**指定された区間(公式通知No.4参照)は、1周目の押歩きが認められる。**
(※競技結果から500mが減算される)
指定された区間は大会事務局によって**コース上に石灰によるライン引きによって、始点と終点が指定される。**
4.**コース上でブレーカの復旧作業以外で停車し足をついた車両はその時点でオフィシャルへ「リタイア宣言」を宣告し、距離認定を受けること。**これにより「リタイア宣言」を行った地点までの距離が走行距離として認められる。走行距離の計測は、基点(各オブザベーションポスト)から前輪の接地点までとなる。
なお距離認定を受ける前に車両を動かしたと判断された場合はペナルティが科せられることがある。
また、「リタイア宣言」をした車両も、賞典外として競技に参加することができるが、リザルトにはリタイア時点の距離が記載される。
5.ピットインやライダー交代は自由。ピットイン時の押歩きは認められる。なおピットインした後に、再度コースインし、ホームストレート上のコントロールラインを通過しなかった場合、一切の走行周回数(距離)は認定されない。
(ピットチェッカーは認められない)。
6.チェッカーが提示される5分前にピットロード出口は閉鎖される。
7.30分経過時点で、トップ車両の位置に関係なく、**ホームストレート上フラッグ台にてチェッカーフラッグが10分間提示**され、**コース上では赤旗が提示される。**コース上では、チェッカーフラッグ提示終了時刻まで放送にてカウントダウンを行う。チェッカーフラッグ提示終了時刻に、急な下り坂を走行している場合は、徐々にブレーキをかけて安全に停車すること。
8. 順位認定は、コントロールライン上でチェッカーを受けた車両に対して**競技終了時の周回数が多い車両から**優先的に与えられる。同一周回の場合は、コントロールライン通過時刻が早い車両を上位とする。
また、チェッカー・赤旗提示中にコントロールラインを通過できなかったチームは、チェッカー提示から10分後の地点までが走行距離として認められる。この場合の走行距離は**規則に基づいて、コース上のオフィシャルにより確定され、コース上で止まった位置の距離認定用紙がライダーへ渡される。ライダーは距離認定用紙に署名しそれを大会事務局に競技終了30分以内に提出することで、順位認定を受けることができる。同一区間に複数車両が停車している場合は、より前方で停車している車両から順に１、２、３…とそれぞれ連番で認定を行う。**場合により事務局で用意したトランスポンダーの位置情報から認定される。
9.競技を終了した車両は、オフィシャルの誘導に従って徐々にスピードダウンし、PITレーン入口を逆走して**PIT50**にて車両検査を受けなければならない。
10.競技中にSTOPした車両は、競技終了後のレッカー回収対象となる。
ライダーは車両を安全な位置に移動し、退避すること。
11.ライダーをはじめ全ての参加者は無理をせず、十分な水分補給を行い、熱中症予防を怠ってはならない。

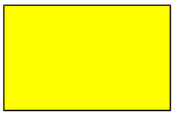
本競技に使用するフラッグ

【日章旗】



競技スタート合図の旗

【イエローフラッグ（黄旗）】



前方に低速車及び停止車両あり。
前方に注意して走行。

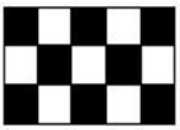
【ホワイトフラッグ（白旗）】

競技車両以外の走行車両あり。
前方に注意して走行。
走行距離認定のオフィシャルカー、救急車
レスキューカー等の車両が走行する場合あり。

【レッドフラッグ（赤旗）】

競技の中断。
ライダーは直ちに速度を落とし、
必要に応じて停車できる態勢をとること。

【チェッカーフラッグ】



競技終了

以上

2022年7月18日
大会事務局

インフォメーション No.2

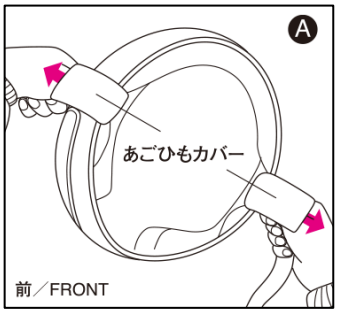
参加者 各位

安全装備(ヘルメット)の適切な着用について

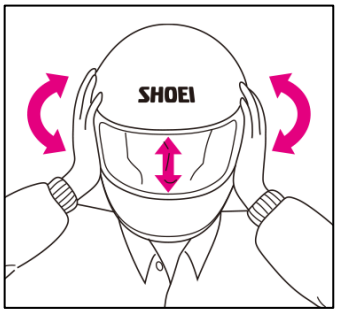
過去の大会において、横転時や転倒時にヘルメットの脱落(頭部からの抜け落ち)が発生しています。これはヘルメットが適切に着用されていなかったことに起因しており、重大な事故につながる恐れがある事例です。

下記に、ヘルメットの適切な着用方法についてご案内いたします。ドライバー・ライダーはもちろん、チームマネージャーやメカニックのチーム全員で乗員を守る意識を高め、安全第一に徹するようお願い申し上げます。

ヘルメットの正しいかぶり方と使用上の注意

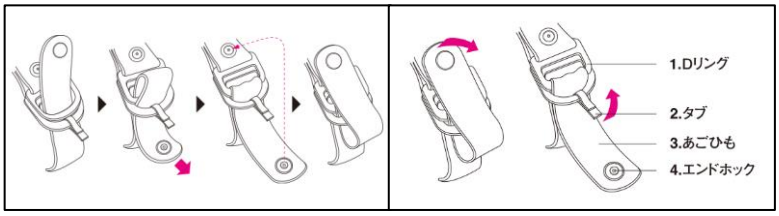


1.両手でヘルメットの開口部を拡げて、（図A参照）頭を滑り込ませてください。
この時、あごひもカバーではなく、あごひもだけを引っ張ってください。
カバーを引っ張ると破れることがあります。
もしヘルメットがフィットしないならば、あなたには大きすぎます。
もしあなたがヘルメットを被り慣れていなければ、さらに、きつく感じるでしょう。
たとえあなたが、サイズが小さく感じられ被ることが難しいと思っても、できるだけ小さい
ヘルメットを選んでください。



2.ヘルメットが、あなたの頭にフィットしているかどうかをチェックしてください。
あなたの頭頂部は、パッドの押圧を感じているかどうかをチェックしてください。
チークパッドが、あなたの頬に密着しているかどうかをチェックしてください。
あなたの額のまわりに、指が入るような隙間が無いことを確認してください。
次に、両手をヘルメットに添えてください。あなたの頭を動かさずに、ヘルメットを上下や、左右に動かそうとしてください。あなたの頭部や、顔の皮膚が、ヘルメットを動かそうとする方向へ引っ張られるはずです。
もし、あなたがヘルメットを容易に動かせるとしたら、そのヘルメットは、あなたには大きすぎます。より小さいサイズを試してください。

ヘルメットのあごひもの正しい締め方



あごひもの端をDリングに通し、あごひもがあなたののどに当たるまで強く引張ってください。
しっかりと締めた後、あごひもの端にあるエンドホックを合わせて、カチッと音がするまではめこんでください。
エンドホックは、余ったあごひもがパタつかないようにするためのものです。
あごひもをはずす時は、エンドホックをはずしてからタブを下に引くと、あごひもがゆるみ、はずしやすくなります。

出典・画像引用元：株式会社SHOEI 公式ホームページ
https://www.shoei.com/support/howtouse/wear.html

出典・画像引用元：au損保 公式ホームページ
https://www.au-sonpo.co.jp/pc/lp_helmet_guide/

参考：Shoei Helmet Japan 公式Youtubeチャンネル
https://www.youtube.com/watch?v=klChn1rdQWE

Shoei Helmet Japan
公式Youtubeチャンネル

あごひもは首と顔の境目に!
(あごの先端などは不適切)
指1本以内まで確実に締める!

以上

SUZUKA CIRCUIT